

東京湾海況情報 21-12

東京湾水質調査結果（平成22年3月分）

平成22年3月31日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査(内湾:3/17(わかふさ)、内房:3/3(ふさみ丸)
第三管区海上保安本部, 千葉県環境研究センター
関東・東海海況速報

水温・塩分の状況(図1～2、表1)

内湾表層は水温11～13℃台(平年より高め)、塩分28～32台で(北部で低め、南部で高め)でした。
内房表層は水温11～15℃台(ほぼ平年並み)、塩分32～34台(やや低め)でした。

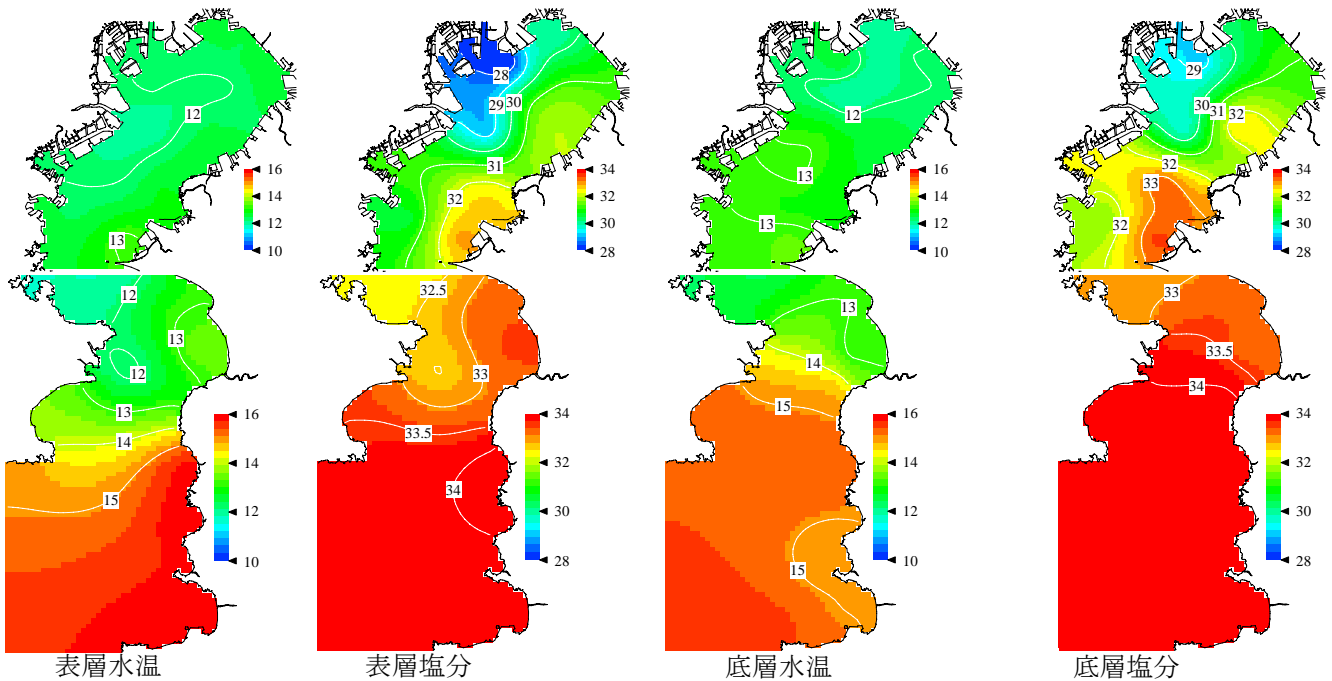


図1 水温と塩分の水平分布

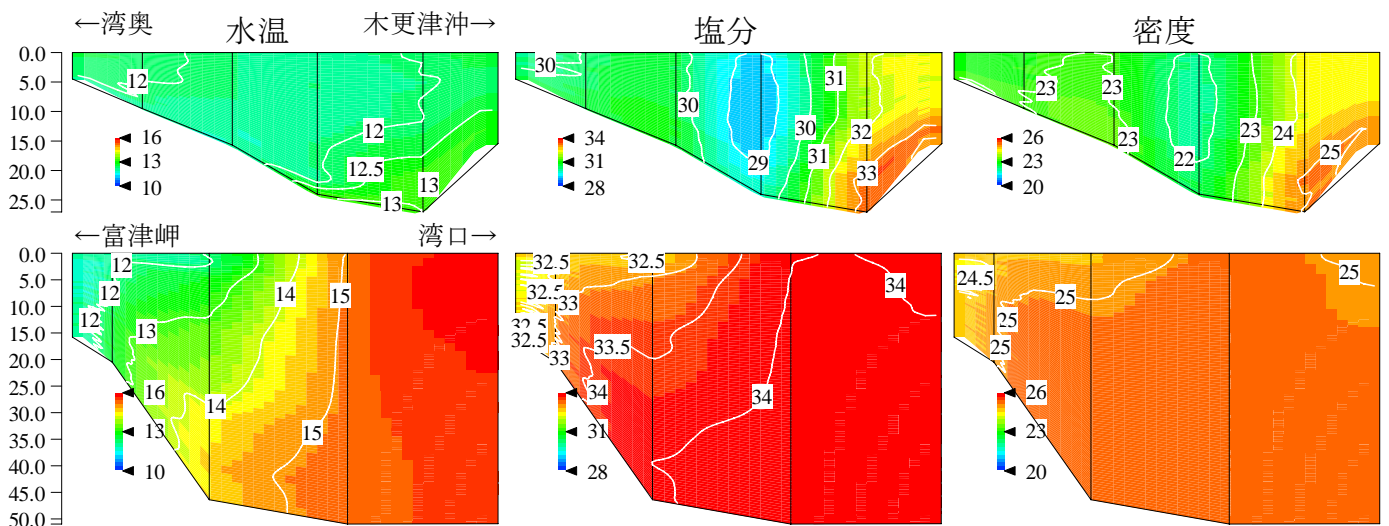


図2 鉛直分布(上:内湾, 下:内房)

赤潮の状況(図3、表1)

赤潮には至っていませんが、全体的にプランクトンが増加していました。優占種は、珪藻のスケルトネマ(*Skeletonema costatum*)及びシュードニッチア(*Pseudo-nitzschia* sp.)で、その他にユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)とリソゾレニア(*Rhizosolenia setigera*)が見られました。

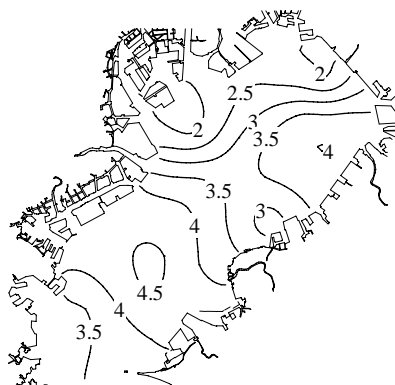


図3 透明度の分布(m)

貧酸素水塊の状況(図4、表1)

貧酸素水塊は、依然として全域で観測されませんでした。

(千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています)

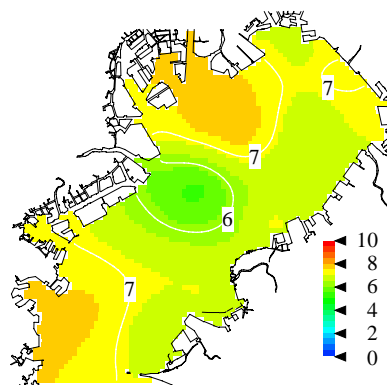


図4 内湾のDO(ml/L)

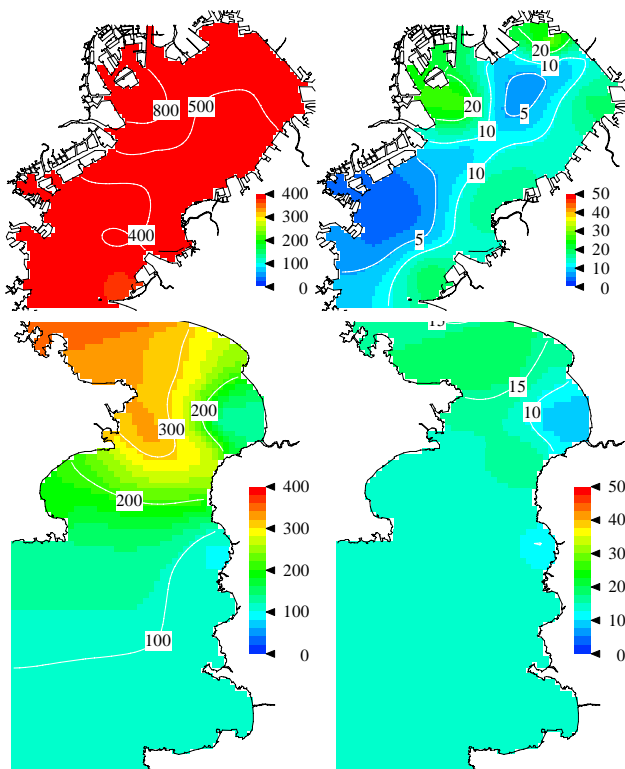


図5 表層の栄養塩類
(左:DIN, 右:PO₄-P 単位はいずれも µg/L)

栄養塩類の状況(図5、表1)

内湾、内房ともにDINは高めでした。PO₄-Pは、低レベル域はあるものの、養殖場周辺は10 µg/L以上であり、ノリ養殖に十分なレベルを維持していました。

黒潮の状況(図6)

黒潮は、N型流路をとり八丈島の北側を東進し、房総沖を離れながら北東方向に流れています。

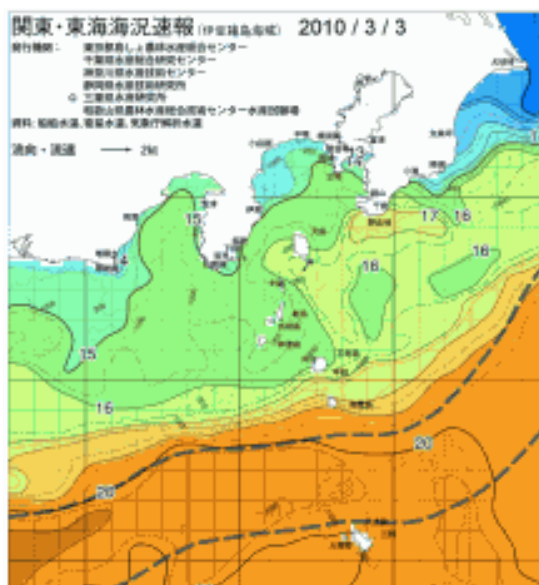


図6 黒潮の動き(3月3日)

表1 主な調査点の水質調査結果

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	リン酸 態リン ($\mu\text{g/L}$)	アンモニア 態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	クロロフィ ルa量 ($\mu\text{g/L}$)	
内湾	船橋	2.0 (3.2)	12.3 (10.8)	29.80 (30.88)	8.3 (8.5)	6.8 (6.7)	673 (470)	28 (14)	144 (61)	12.7
	st.15	2.5 (3.5)	12.1 (10.8)	30.00 (31.14)	8.3 (8.5)	7.0 (5.8)	590 (413)	6 (6)	54 (39)	16.8
	st.3	3.0 (4.0)	11.9 (10.6)	30.30 (31.19)	8.3 (8.5)	7.6 (5.1)	533 (452)	6 (5)	52 (44)	11.9
	st.6	3.7 (4.4)	11.8 (10.6)	28.80 (31.35)	8.1 (8.5)	5.2 (4.2)	497 (428)	7 (6)	48 (49)	12.8
	st.9	4.5 (4.9)	12.3 (10.7)	32.10 (31.81)	8.3 (8.4)	6.9 (5.5)	404 (363)	5 (6)	19 (33)	11.8
	盤洲Cブイ	2.8 (3.6)	12.4 (11.2)	31.70 (31.61)	8.1 (8.4)	6.9 (5.4)	476 (395)	14 (11)	82 (46)	5.3
	st.8 (盤洲Aブイ)	4.0 (4.0)	12.5 (11.0)	32.20 (31.87)	8.2 (8.4)	6.7 (5.0)	410 (370)	13 (10)	57 (45)	5.8
	富津ベタ	4.0 (4.6)	13.1 (11.2)	32.80 (31.95)	8.1 (7.9)	6.5 (5.7)	378 (336)	18 (9)	68 (42)	3.0
内房海域	第2海ほ下	7.0 (6.3)	11.9 (11.7)	32.5 (33.03)	(8.2) (8.2)		318 (241)	17 (10)	49 (23)	2.5
	st.31	7.0 (8.2)	11.9 (12.4)	32.5 (33.18)	(8.2) (8.3)		320 (240)	13 (10)	35 (19)	4.2
	st.23	18.0 (17.2)	15.2 (14.6)	34.0 (34.33)	(8.2) (8.2)		106 (117)	13 (13)	5 (16)	0.7
	st.1	19.0 (16.8)	15.8 (14.6)	33.8 (34.49)	(8.2) (8.2)		93 (98)	11 (13)	6 (13)	0.6
	st.10 (下洲沖)	(6.9)	12.9 (12.4)	33.2 (33.48)	(8.2) (8.2)		269 (194)	15 (9)	36 (17)	
	st.12 (湊沖)	(7.2)	13.2 (12.8)	33.3 (33.67)	(8.2) (8.2)		123 (185)	7 (10)	7 (17)	
	st.22 (保田沖)	(12.6)	15.7 (14.7)	34.1 (34.34)	(8.2) (8.2)		86 (116)	10 (11)	4 (13)	
	st.24 (富浦沖)	(15.2)	15.9 (14.7)	34.1 (34.39)	(8.1) (8.2)		90 (104)	11 (12)	5 (12)	
	st.26 (館山湾内)	(15.7)	15.8 (15.0)	33.8 (34.45)	(8.2) (8.2)		92 (96)	11 (12)	8 (13)	

() : 過去10年間の平均値 (ただし富津ベタは過去9年分)
 ※透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。